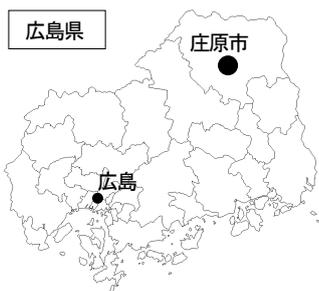


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	人と地域が輝く88の「新たな公」 ～庄原市の未来（あす）をつなぐ、あらたな「公」コミュニティづくり事業～
対象地域	広島県庄原市（市内は7地域、88自治振興区から構成）
対象地域の概要	<p>庄原市は、かつて豊かな自然の恵みを楽しみ、家族や隣近所、地域が互いに助け合い、先人の知恵や営みの中から特有の地域文化を形成してきた。しかし、時代の流れと共に少子高齢化が進み、過去10年間で48,539人（平成7年）から43,149人（平成17年）へと、実に11.1%、5,000人以上もの人口減少がみられ、集落の維持・存続が危ぶまれる地域が市内にも拡大している地域である。</p> <p>また、平成17年3月に1市6町が合併し、西日本一の行政面積を有しており、多様な資源と可能性を有する一方で、市全体の振興が課題となっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>【県内位置図】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【周辺位置図】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【写真】</p> </div> </div>
提案内容の概要	自治振興区が自立した地域運営や地域づくりが出来るよう、「自治振興区応援バンク（仮称）＝多様な主体との連携」を設立し、過疎化・高齢化となった集落を守り、住民がその地域に住み続けるために不可欠なコミュニティの維持・創生に取り組む先進的な提案である。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	<p>○自治振興区の活動についての課題 自治振興区が設立されて4年が経過し、それぞれの地域が特色のある活動を展開されているが、少子化・高齢化等により自治振興区単体では解決できない課題や自治振興区の存続すら危ぶまれる地域も見られる。</p> <p>また、昨年度の事業実施によりわかった課題として、庄原市の自治振興区は規模や体制が多様であり、自治振興区活動を行う主体として位置づけるための体制整備については依然として解決されていないことが挙げられる。また、住民自らが地域を守り、地域づくりを主体的に実践し、人と地域が輝く自治振興区によるまちづくりをめざすためには、自治振興区による自立的な活動が不可欠であるが、自主財源を生み出す事業を行っている自治振興区は少なく、その点についても今後の課題となっている。</p> <p>○自治振興区の活動を支援する体制についての課題 昨年度の事業実施によりわかった課題として、自治振興区活動の促進にあたっては、「総合相談窓口」等におけるコーディネート機能が非常に重要であり、コーディネーターの育成・確保が今後の課題として挙げられる。また、そのコーディネーターの支援人員としてのアドバイザーや、多様な相談に対応する「自治振興区応援バンク（仮称）」の設立が必要不可欠である。</p> <p>各自治振興区に「総合相談窓口」や「自治振興区応援バンク（仮称）」の有用性が認識され、庄原市自治振興区連合協議会の事業として展開していくためには、更に周知・準備・実験的实施期間を充実させることが必要であり、そこで成果を出していくことが重要である。</p>
(2) 活動内容の案	<p>活動①：「新たな公」機能を持った自治振興区づくり</p> <p>内容：</p> <p>平成20年度事業において、自治振興区を対象としたヒアリングを通じて自治振興区の現状と課題が見えてきた。本事業ではそれらを踏まえ、庄原市の自治振興区が「新たな公」機能を持つために必要な活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治振興区の体制づくり 20年度事業の実施により課題として見えてきた、規模、体制、又は活動範囲のとりえ方の違い等による自治振興区間の格差を解消するための検討会の実施 ○自主財源づくり

自治振興区が自立的な活動をおこなう上で必要不可欠である、自主財源確保に向けたワークショップを実施する。個別の自治振興区における活動だけでなく、複数の自治振興区やテーマ別のグループなどを対象とするなど、課題に応じた参加者・参加手法を用いる。

活動②：自治振興区の支援体制づくり

内容：

平成 20 年度事業において、自治振興区活動を総合的に支援するための「お助け相談窓口」の設置により自治振興区からの相談を一括して受け付ける仕組みを検討するとともに、NPOや市民団体の連携手法についても検討した。本事業ではそれらを踏まえ、自治振興区の活動を支援する体制を確立させる。具体的には以下の活動を行う。

○自治振興区応援バンクの設立・運営

自治振興区とNPOや市民活動団体などを含めた関係組織・団体に構成する「自治振興区応援バンク（仮称）」を設置し、様々な主体との連携による自治振興区支援活動をおこなう。

○コーディネーターの人材育成

総合相談窓口におけるコーディネート機能の充実強化のため、委嘱コーディネーターのスキルアップを図る。

○情報交換・共有の仕組みの構築

自治振興区を総合的に支援するホームページの立ち上げ、あるいは情報誌の作成などにより、情報一元管理及び双方向による自治振興区情報の発信をおこなう。ホームページの構築にあたっては、各自治振興区が積極的に情報更新できるシステムを構築し、誰でも情報を得る事ができ、各自治振興区情報を共有できる場の提供を試みる。例えば、自治振興区井戸端会議コーナーなど、単に各自治振興区を紹介するホームページではなく、自治振興区活動のノウハウ、問題、課題、又はその解決策などを出し合い、実践者の生の声が聞ける場の設置などを検討する。

応募団体名	庄原市自治振興区連合協議会
リンク	
部局／担当者名	庄原市自治振興区連合協議会事務局（庄原市役所自治振興課） 堀井 慎一郎
連絡先	0824-73-1209
推薦市町村名	庄原市